

## Hyponormal operator の factorization について

東北大 教養 吉野 崇

1. Hilbert space  $H$  上の bounded linear operator  $S$  が  $\|Sx\| \geq \|S^*x\|$ , for all  $x \in H$  なる条件を満たす時, hyponormal という。

この作用素は 1950 年に Halmos [5] によって導入されて以来、多くの人々によって研究されて来たが、その典型的性質の一つとして、Andô 氏 [1] による、その operator norm と spectral radius とが一致するという性質が知られている。又、この性質に基づく種々の結果が得られているが、ここでは、それらは省略する。

operator の構造を調べる時、良く知られている operator による factorization が大切な役割を果たす。良く知られている factorization として polar decomposition があるが、最近、特殊な factorization を持つ operator が invariant subspace を持つ事が Suzuki 氏 [7] 及び、Radjavi and Rosenthal [6] 等によって示されている。

hyponormal operator のその adjoint operator による factorization が、Douglas [2] 及び Embry [4] によって知られているが、ここでは、[8] で示したように hyponormal operator は contraction と密接な関係があり、その意味で、contraction との関連による factorization について報告する。

2.  $T$  を  $H$  上の contraction とすると、 $\{T^{*k}T^k\}$  は non-negative contraction に強収束し、その square root を  $A_T$  とすると、 $T^*A_T^2T = A_T^2$  だから、 $A_T T$  は hyponormal である。

逆に、 $H$  上の hyponormal operator  $S$  が与えられた時、或る contraction  $T$  が存在して、 $S = A_T T$  と表わせるか？ という問題を生ずる。これに対し、

定理 1.  $S$  を  $H$  上の invertible, hyponormal operator とすると、或る、 $A_C$  が invertible な contraction  $C$  が存在し、又、 $A_C C$  の polar decomposition を  $V A_C$  とするとき、 $V$  と可換な positive operator  $Y$  が存在し、 $S = (A_C Y A_C)^{\frac{1}{2}} C$  と表わせる。

証明.  $S = V|S|$  を polar decomposition とすると、 $V$  は unitary である。  $C = |S|^{-1}V|S|$  とすると、 $|S|C = V|S| = S$ ,  $C^*|S| = |S|V^* = S^*$  だから、 $\forall x \in H$  に対して、 $\|C^*x\| = \|C^*|S||S|^{-1}x\| = \|S^*|S|^{-1}x\| \leq \|S||S|^{-1}x\| = \|V|S||S|^{-1}x\| = \|Vx\| = \|x\|$  従って、 $C$  は contraction である。  $C^n = |S|^{-1}V^n|S|$  だから  $C^{*n} = |S|V^{*n}|S|^{-1} \therefore C^{*n}C^n = |S|V^{*n}|S|^{-2}V^n|S|$ .

$mI \leq |S|^2 \leq MI$  とすると、 $\frac{1}{M}I \leq |S|^{-2} \leq \frac{1}{m}I$  従って、 $\frac{m}{M}I \leq C^*C \leq I$   
 ( $\because C$  は contraction)。  $\{C^*C\} \downarrow A_C^2$  だから、 $\frac{m}{M}I \leq A_C^2 \leq I$ 。 故に  $A_C$   
 は invertible。 又、 $C^*|S|^2C = |S|V^*V|S| = |S|^2$  だから、Douglas [3] に  
 よって、 $|S|^2 = A_C Y A_C$  と表わせる。 但し、 $A_C C = V_C A_C$  を polar  
 decomposition とするとき、 $V_C^* Y V_C = Y$  で  $\|Y\| = \||S|^2\|$ 。 ここで  
 $V_C$  は unitary だから、 $Y V_C = V_C Y$  又、 $|S|^2$  は positive だから  $Y$  も  
 positive。 故に、 $S = (A_C Y A_C)^{\frac{1}{2}} C$  なる表現が出る。

$V_C$  と可換な任意の non-negative な operator  $Z$  に対して、  
 $(A_C Z A_C)^{\frac{1}{2}} C$  は hyponormal であり、特に  $Z = I$  のときが、 $A_C C$  なる  
 形の hyponormal operator であることがわかる。

次に、 $S$  を  $H$  上の invertible operator とすると、 $S$  が  
 hyponormal であることと、 $S^{*-1}S$  が contraction であるこ  
 とが同値である。 そこで  $S^{*-1}S = C$  とすると次の factori-  
 zation を得る。

定理 2. 或る normal operator  $N$  が存在して、 $S = A_C N A_C$   
 と表わせる。

証明.  $C = S^{*-1}S$  とすると、 $\forall x \in H$  に対して、 $\|Cx\| = \|S^{*-1}Sx\|$   
 $\leq \|S^{-1}Sx\| = \|x\|$  だから  $C$  は contraction であり、 $S = S^*C$  より、  
 $C^*S = S^* \therefore S^k = C^{*k} S C^k$ , for all  $k = 1, 2, 3, \dots$ 。  $\forall x \in H$  に対して、  
 $\|S^k x\| = \|C^{*k} S C^k x\| \leq \|S\| \|C^k x\|$  で  $S$  は invertible だから、 $A_C$  は

invertible.  $C^*A_c^2C = A_c^2$  だから、 $S^*S^{-1}A_c^2S^{*-1}S = A_c^2$  従って、

$$S^{-1}A_c^2S^{*-1} = S^{*-1}A_c^2S^{-1} \quad \therefore (A_cS^{-1}A_c)(A_cS^{*-1}A_c) = (A_cS^{*-1}A_c)(A_cS^{-1}A_c) \text{ 即ち}$$

$$(A_cS^{-1}A_c)(A_cS^{-1}A_c)^* = (A_cS^{-1}A_c)^*(A_cS^{-1}A_c) \text{ 故に } A_cS^{-1}A_c \text{ は normal である。}$$

従って、 $A_c^{-1}SA_c^{-1} = N$  とおくと、 $S = A_cNA_c$  と表わせる。

定理 2 で、normal operator  $N$  の polar decomposition を  $U|N|$  とすると、 $U = V_c^{1/2}$  である。何故なら、 $S^* = A_cN^*A_c$  より  $S^{*-1} = A_c^{-1}N^{*-1}A_c^{-1}$   
 $\therefore C = S^{*-1}S = A_c^{-1}N^{*-1}NA_c$  となり  $A_cC = N^{*-1}NA_c$  一方  $A_cC = V_cA_c$   
 だから  $N^{*-1}N = V_c \quad \therefore N = N^*V_c$  従って、 $U|N| = |N|U^*V_c \quad N = U|N|$   
 $= |N|U$  だから、 $U = U^*V_c \quad \therefore V_c = U^2$  i.e.,  $U = V_c^{1/2}$  である。

そこで  $P$  を  $V_c^{1/2}$  と可換な任意の non-negative operator とすると、 $V_c^{1/2}P$  は normal であり、 $A_cV_c^{1/2}PA_c$  は hyponormal operator である。何故なら、 $Y = A_cV_c^{1/2}PA_c$  とすると、 $Y^*Y - YY^*$   
 $= A_cPV_c^{1/2*}A_c^2V_c^{1/2}PA_c - A_cPV_c^{1/2}A_c^2V_c^{1/2*}PA_c = A_cPV_c^{1/2*}\{A_c^2 - V_cA_c^2V_c^*\}V_c^{1/2}PA_c$  で  
 $A_cC = V_cA_c$  は hyponormal だから  $A_c^2 - V_cA_c^2V_c^* \geq 0 \quad \therefore Y^*Y - YY^* \geq 0$   
 よって  $Y$  は hyponormal である。

従って、特に  $P = I$  の時、即ち  $A_cV_c^{1/2}A_c$  は hyponormal である。この事から、定理 2 に於て、 $A_c$  を他の non-negative operator ととりかえることにより、 $N$  の代りに unitary operator にとれるか? という問題を生ずる。この問題は、次の如く肯定的に解ける。

定理3.  $S$  を  $H$  上の invertible, hyponormal operator とすると、或る positive operator  $Q$  及び、或る unitary operator  $W$  が存在して、 $S = QWQ$  と表わせる。

証明. 定理2 より  $S = A_c U N A_c = (A_c I N A_c)(A_c^{-1} U A_c)$  だから、  
 $A_c^{-1} U A_c = (A_c I N A_c)^{-1} S$  一方、 $S^{*-1} S = A_c^{-1} N^{*-1} N A_c = A_c^{-1} V_c A_c$   
 $= A_c^{-1} U^2 A_c = (A_c^{-1} U A_c)^2$  だから、 $S^{*-1} S = (A_c I N A_c)^{-1} S (A_c I N A_c)^{-1} S$   
 $\therefore S^{*-1} = (A_c I N A_c)^{-1} S (A_c I N A_c)^{-1}$  従って、 $S^*(A_c I N A_c)^{-1} S = A_c I N A_c$   
 $\therefore \{(A_c I N A_c)^{-\frac{1}{2}} S^* (A_c I N A_c)^{-\frac{1}{2}}\} \{(A_c I N A_c)^{-\frac{1}{2}} S (A_c I N A_c)^{-\frac{1}{2}}\} = I$  故に、  
 $(A_c I N A_c)^{-\frac{1}{2}} S (A_c I N A_c)^{-\frac{1}{2}}$  は unitary である。故に  $(A_c I N A_c)^{\frac{1}{2}} = Q$  とおき、 $Q^{-1} S Q^{-1} = W$  とおくと、求める表現  $S = QWQ$  が得られる。このとき、 $W = (A_c I N A_c)^{\frac{1}{2}} (A_c^{-1} U A_c) (A_c I N A_c)^{-\frac{1}{2}}$  である。何故なら、 $S^{*-1} S = Q^{-1} W^2 Q$  より  $W^2 = Q S^{*-1} S Q^{-1} = Q (A_c^{-1} U A_c)^2 Q^{-1}$   
 $= \{Q A_c^{-1} U A_c Q^{-1}\}^2 \therefore W = Q A_c^{-1} U A_c Q^{-1} = (A_c I N A_c)^{\frac{1}{2}} (A_c^{-1} U A_c) (A_c I N A_c)^{-\frac{1}{2}}$   
 である。

### 参考文献

- [1] T. Andô, On hyponormal operators, Proc. Amer. Math. Soc., 14(1963) 290-291.  
 [2] R.G. Douglas, On majorization, factorization and range inclusion of operators on Hilbert space, Proc. Amer. Math. Soc., 17(1966) 413-415.

- [3] R.G. Douglas, On the operator equation  $S^*XT = X$  and related topics, *Acta. Sci. Math.*, 29(1969) 19-32.
- [4] Mary R. Embry, Factorization of hyponormal operators, *The Journal of the Australian Math. Soc.*, 13-3 (1972) 323-326.
- [5] P.R. Halmos, Normal dilations and extensions of operators, *Summa. Brasiliensis Math.*, 2(1950) 125-134.
- [6] H. Radjavi and P. Rosenthal, Invariant subspaces for products of hermitian operators, *Proc. Amer. Math. Soc.*, 43(1974) 483-484.
- [7] N. Suzuki, Reduction theory of operators on Hilbert space - The invariant subspace problem - , *Indiana Univ. Math. Journ.*, 20-10 (1971) 953-958.
- [8] T. Yoshino, Hyponormal operators in von Neumann algebras, *Tôhoku Math. Journ.*, (to appear).